

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)

【公開番号】特開 2000-191905 (P2000-191905A)

【公開日】平成 12 年 7 月 11 日 (2000.7.11)

【出願番号】特願 平 10-367861

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 L 77/06

C 0 8 K 7/08

【F I】

C 0 8 L 77/06

C 0 8 K 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 25 日 (2005.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

テレフタル酸成分以外の他のジカルボン酸成分としては、マロン酸、ジメチルマロン酸、コハク酸、グルタル酸、アジピン酸、2 - メチルアジピン酸、トリメチルアジピン酸、ピメリン酸、2, 2 - ジメチルグルタル酸、2, 2 - ジエチルコハク酸、アゼライン酸、セバシン酸、スベリン酸などの脂肪族ジカルボン酸；1, 3 - シクロペンタンジカルボン酸、1, 4 - シクロヘキサンジカルボン酸などの脂環族ジカルボン酸；イソフタル酸、2, 6 - ナフタレンジカルボン酸、2, 7 - ナフタレンジカルボン酸、1, 4 - ナフタレンジカルボン酸、1, 4 - フェニレンジオキシジ酢酸、1, 3 - フェニレンジオキシジ酢酸、ジフェン酸、4, 4 ' - オキシジ安息香酸、ジフェニルメタン - 4, 4 ' - ジカルボン酸、ジフェニルスルホン - 4, 4 ' - ジカルボン酸、4, 4 ' - ビフェニルジカルボン酸などの芳香族ジカルボン酸、あるいはこれらの任意の混合物を挙げることができる。これらのうち芳香族ジカルボン酸が好ましく使用される。さらに、トリメリット酸、トリメシン酸、ピロメリット酸などの多価カルボン酸を溶融成形が可能な範囲内で用いることもできる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

1, 9 - ノナンジアミン成分および 2 - メチル - 1, 8 - オクタングジアミン成分以外の他のジアミン成分としては、エチレンジアミン、プロピレンジアミン、1, 4 - ブタンジアミン、1, 6 - ヘキサングジアミン、1, 8 - オクタングジアミン、1, 10 - デカンジアミン、1, 12 - ドデカンジアミン、3 - メチル - 1, 5 - ペンタンジアミン、2, 2, 4 - トリメチル - 1, 6 - ヘキサングジアミン、2, 4, 4 - トリメチル - 1, 6 - ヘキサングジアミン、5 - メチル - 1, 9 - ノナンジアミンなどの脂肪族ジアミン；シクロヘキサングジアミン、メチルシクロヘキサングジアミン、イソホロングジアミンなどの脂環式ジアミン；p - フェニレンジアミン、m - フェニレンジアミン、キシレンジアミン、4, 4 ' - ジアミノジフェニルメタン、4, 4 ' - ジアミノジフェニルスルホン、4, 4 ' - ジアミノ

ジフェニルエーテルなどの芳香族ジアミン、あるいはこれらの任意の混合物を挙げることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

実施例 1、比較例 1

参考例 2 の P A 9 T 1 0 0 重量部に、チタン酸カリウム（大塚化学（株）製、ティスモ D、平均長 20 μ m、平均径 0.4 μ m）30 重量部（実施例 1）、またはガラス繊維（日東紡績（株）製、C S 3 J - 2 5 6 S、平均長 3 mm、平均径 12 μ m）30 重量部（比較例 1）、およびヒンダードフェノール系酸化防止剤 3,9-ビス[2-{3-(3-t-ブチル-4-ヒドロキシ-5-メチルフェニル)プロピオニロキシ}-1,1-ジメチルエチル]-2,4,8,10-テトラオキサスピロ[5.5]ウンデカン（住友化学工業（株）製、スミライザー G A - 8 0）0.2 重量部、潤滑剤（二硫化モリブデン）5 重量部をドライブレンドした。これを、参考例 2 と同様の方法にてペレット化し、次いで成形品とした。得られたペレットの射出成形時の流動性、成形品のミクロ補強性を評価した。その結果を表 2 に示す。